

らくらく 「楽落くん」で楽～に畑を守る！

ハクビシン、アライグマ、タヌキなどの中型動物被害対策として、スイートコーンやイチゴ、スイカなどの畑に、被害にあう時期にだけ設置するタイプの電気柵を開発しました。

「登る」のが得意なアライグマやハクビシン、「掘る」のが得意なタヌキやアナグマの両タイプに対し、絶妙な高さの柵で感電するよう誘導します。障害物が新たにできた際に動物が行う「探査」行動を逆手に取った電気柵です。

短時間で簡単に設置でき、低いので人間は畑にまたいで入れます。収穫が終わった後の片付けも楽です。



38 cm位
(絶妙な高さ。低すぎても高すぎても良くない)

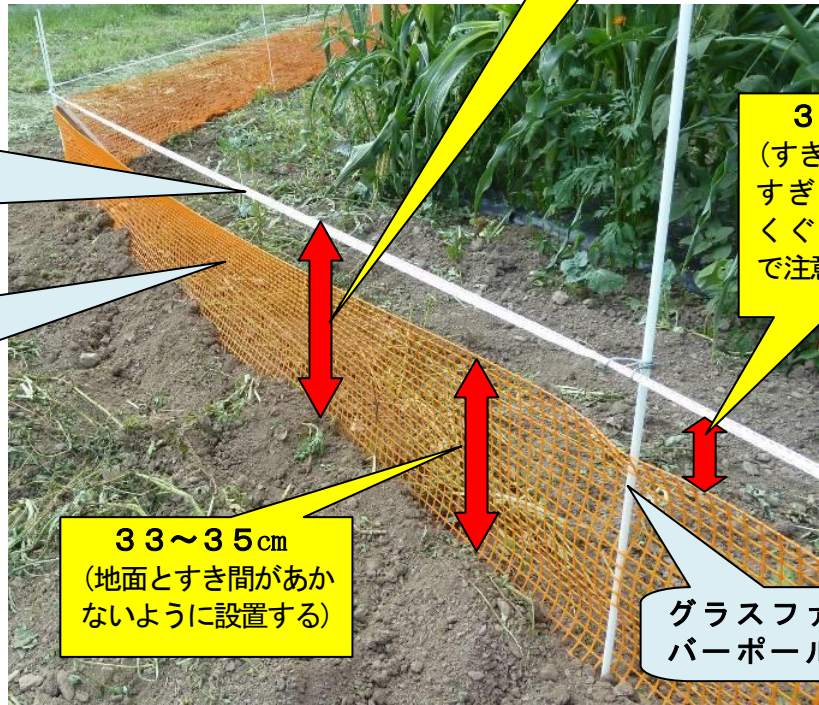
リボンワイヤー
幅1 cmくらいのも
を使用。白いの
で夜でも目立
つ。

トリカルネット
高さ1 mの資材を
1/3 に切断 (33cm)
して使用する。

3~5 cm
(すき間があき
すぎると間を
くぐられるの
で注意！)

33~35 cm
(地面とすき間があ
かないように設置する)

グラスファイ
バーポール



(農林総合研究センター 鳥獣害防除担当 TEL 0494-25-1660)